



〈文責 くま川教室室長 白濱孝治〉

## 心を込めて、ぞうきんを縫いました！

昨年度まで、くま川教室では夏に実施していたキャンプの際に、坂本町木々子地区の七夕飾り保存会の方々と交流を行って来ました。しかし本年は、コロナ禍で、その交流も行えませんでした。さらに、坂本町に甚大な被害をもたらした「令和2年7月豪雨」により、木々子地区への道路が寸断され、木々子地区の方々も孤立した状態が続きました。



そこで、くま川教室でも何かお役に立つ支援をしようと、手作りの雑巾を縫ってお届けすることになりました。9月3日・8日の両日、ボランティア活動を行いました。はじめは、男子も女子も、慣れない手つきではありましたが、一生懸命雑巾を縫っていました。全部で、37枚できあがりしました。できるだけ早く、お届けしたいと思います。

## 秋の博物館へ 次の日、秋の味覚”栗”をいただきました！

今年度のくま川教室の「秋の遠足」はコロナ禍のため、「栗拾い」から「博物館見学」へと変更になり、9月9日(水)実施しました。

次の日、栗園のお心遣いもあり、栗を茹でて、おいしくいただきました。

